

文学

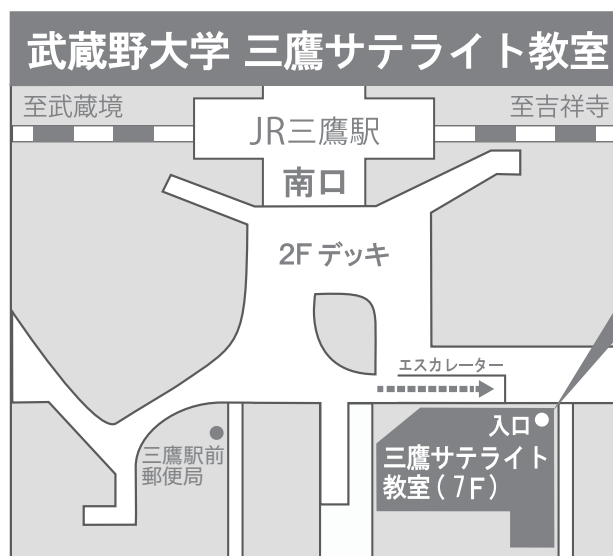
三鷹

0401033

『今昔物語集』巻二十九〈悪行譚〉を読む

受講料 (振込額)	4,000円				
必携テキスト	『今昔物語集 本朝部下』岩波文庫 1,452円				
講座概要	曜日	木曜日		日程 7月7・21日	
	時間	15:00～16:30			
	回数	全2回	定員		20名
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F 大教室			
講師	大正大学非常勤講師 鈴木 治子 (すずき はるこ)				
	武蔵野女子大学日本文学科卒業。大正大学大学院博士課程国文学専攻単位取得。東京都・埼玉県の区民・市民講座講師、NHK文化センター講師、大正大学オープンカレッジ講師、獨協大学オープンカレッジ講師を務める。 〈書著〉『歌謡文学を学ぶ人のために』(共著、世界思想社)『中世文学の展開と仏教』(共著、おうふう)『海東高僧伝』(共著)、『東アジアの仏伝文学』(共著)				
内容	『今昔物語集』巻二十九前半の悪行譚2話を読んでいます。雅な王朝文学が時代の「光」を描いているとすると、巻二十九はいわば「闇」の部分を描いた説話群を集めた巻です。光と闇、双方の世界に注目してこそその時代が見えてくるように思います。平安時代は華やかな貴族文化に彩られた時代であるとともに、底辺では数々の悪行が横行した時代でもありました。今回取り上げる話も、社会の一端を生き生きと描き、時代の実像を映し出す魅力溢れる人間ドラマです。まず第四話は、思わぬきっかけで盗賊の掬となった男の話。続く第八話は、花山院の女王という身分の高い女性が殺害された衝撃的な実話を説話としたもので、説話の発生をたどれるたいへん重要な作品です。				
	① 7月7日：第四話 盗賊の婿になった男 ② 7月21日：第八話 京の人質殺人事件				

武蔵野大学 三鷹サテライト教室



〒181-0013
東京都三鷹市下連雀3丁目26-12
三鷹三菱ビル

JR中央線・総武線
東京メトロ東西線
JR三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 7F
(三菱UFJ銀行のビル)

1階入口からお入りください。

- ・「受講の手引き」「新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのお願い」を必ずお読みの上、ご参加ください。

《徹底のお願い》

☆マスクは清潔な不織布で、鼻口を覆ってください。